

# PAS55によるアセットマネジメント で、リスク管理とコンプライアンス、顧客満足度を改善する

Infor EAMのシニアプロダクトマネージャであるケビン・プライスは、英国規格協会（BSI）のPAS55が、世界中の企業のアセットマネジメントにおけるリスク管理やコンプライアンス、顧客満足度をどのように改善するのかについて考察します。

## アセットマネジメント戦略

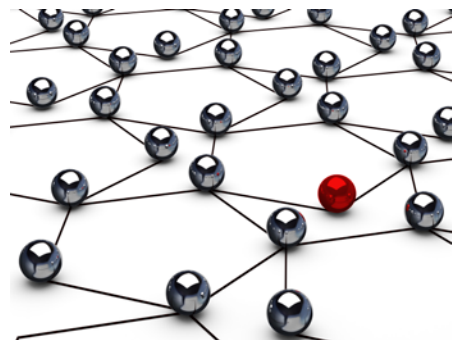
アセットマネジメントの進化のペースはスピードを増しています。かつてのアセットマネジメントは、設備保全や故障機器の修理作業の管理が主な役割でしたが、近年では、よりプロアクティブに機能し、コスト削減や収益性の改善、サービスレベルや顧客満足度の向上、健康、安全、環境面のパフォーマンス改善にフォーカスし、企業やCSR（企業の社会的責任）のイニシアチブに貢献しています。

PAS55を取り入れることで得られるアセットマネジメントのメリットが大きいのにも関わらず、なぜ実行に移す企業が少ないのでしょうか？

一番に考えられる理由は、PAS55が非常にわかりにくいからです。「作業を体系化し、コーディネートすることで、組織の設備資産やそのシステム、関連するパフォーマンスやリスク、費用を、ライフサイクルを通して最適かつ持続的に管理し、組織の戦略的計画を達成することを目的とします」（BSI PAS 55:2008）と記載されていて、これは経営者や様々な関係者、部門の賛同に加えて、幅広いスキルや専門知識が必要になるからです。

実際、多くの企業が、アセットマネジメント戦略のベンチマークを取るために、設備資産の情報を入手するのに四苦八苦しています。以下は、その必要な情報の一部です：

- ・ 設備資産に関する情報を詳細レベルまで登録していますか？
- ・ 設備資産の実際の設置場所や数を知っていますか？
- ・ 設備資産の現在の状態や過去の履歴を把握していますか？
- ・ 将来的なライフサイクルコストを把握していますか？
- ・ こうした設備資産のリスクプロファイルを評価したことがありますか？



## 目次

- 1 アセットマネジメント戦略
- 3 成功のためのフレームワーク
- 4 Infor EAMのパワー

こうした基本的な情報を入手できない主な理由は、多くの人々が情報に関与していながらも、全員が完全に規格に準拠していないため、結果的に価値のない情報になってしまっているからです。

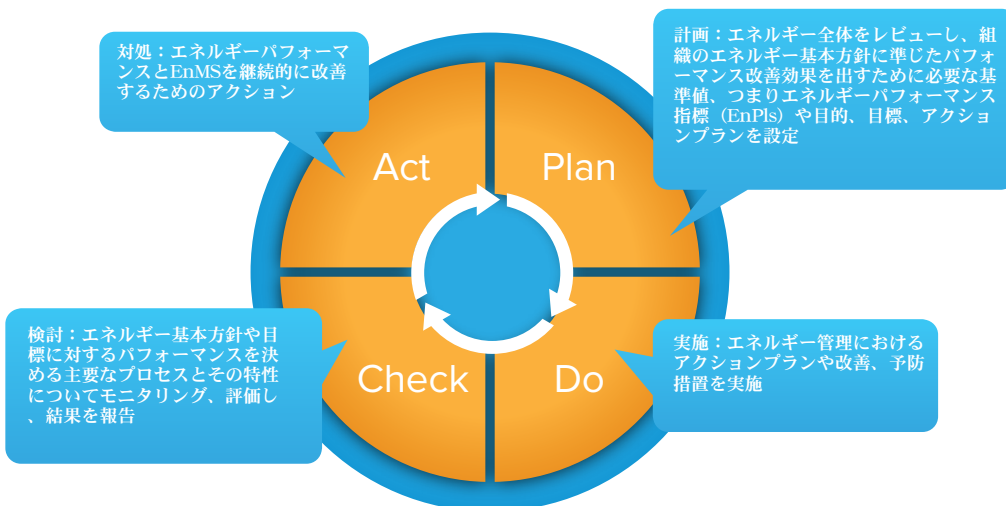
この問題を解決するために数多くの標準やガイドラインが策定され、関係者全員が正しく情報を取り扱えるようなフレームワークや、体系的で実績のあるアセットマネジメントのビジネスケースとアプローチが確立されてきました。

PAS55は、設備資産のライフサイクル管理を包括し、設備資産のコストやリスク、パフォーマンスのトレードオフを決めるためのフレームワークです。設備資産のライフサイクル戦略策定から、コストやリスク、パフォーマンスに関するパラメータに基づいた日々の保全管理に至るまで、アセットマネジメントにおける28項目の目標を設定しています。例えば、最初のニーズ把握から設計、購入、設置、試運転、稼働または保全、更新、改修あるいは廃棄に至るまで、設備資産のライフサイクルの全ての側面を統合することが可能です。また、それぞれの業務がお互いにどうフィットするのか、お互いにどう作用して最適化を行うのかを理解するためのフレームワークにもなります。

極めて重要なことですが、PAS55の仕様は、アセットマネジメントを実施する担当者向けに作られ、社内の様々な設備資産の戦略を説明し、その管理者や所有者に対して納得のいくフレームワークとなっています。最終的には戦略を成功させるために不可欠な関係者間の双方向のコミュニケーションを支援します。また、PAS55は、PDCA（計画、実施、検討、対処）のフレームワークをベースとした継続的な改善サイクルを規定しています。

PDCAの概要は以下の通りです：

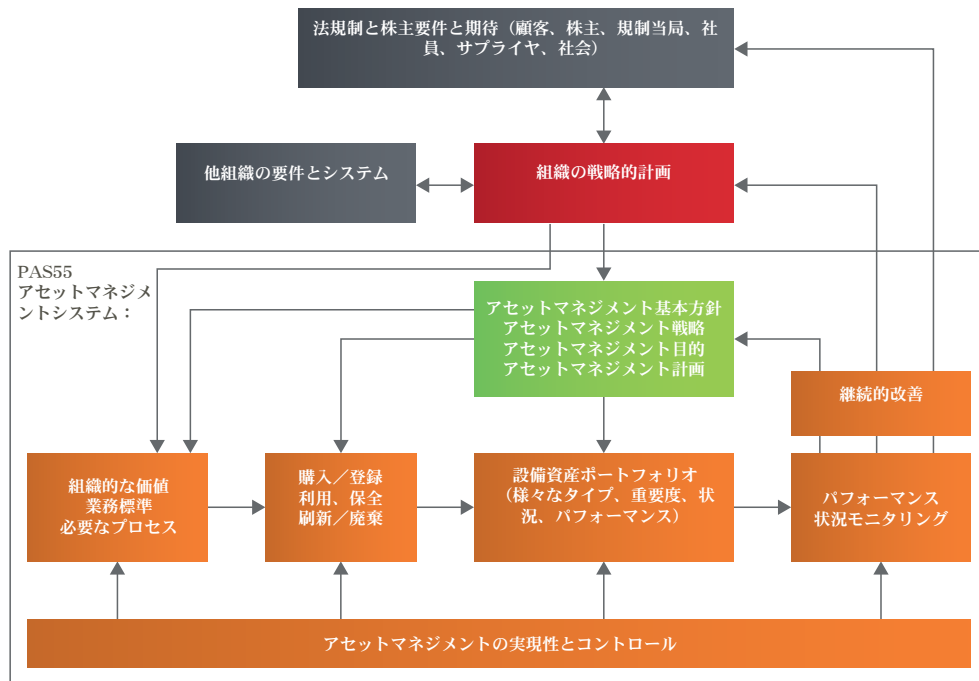
- ・ 計画（Plan） - 仕様に沿った成果を達成するために必要な目標とプロセスの確立
- ・ 実施（Do） - プロセスの実装
- ・ 検討（Check） - 設定された目標と仕様に対するプロセスの評価やモニタリング、成果の報告
- ・ 対処（Act） - 必要な改善への対処。すべてのステップを見直し、プロセスの改善を行う



## 成功のためのフレームワーク

PAS55は、潜在的に複雑な規格に対する” Out of Box” なソリューションを提供し、素早い意思決定を実現します。また、効果的なアセットマネジメントがもたらすメリットを浸透させ、業界標準として徐々に適用されつつあります。

もちろん、こうした業界標準は全体の一部であり、世界基準の信頼性と稼働率を実現するための正しい知識やスキル、ソリューションは含まれていません。それには、設備に関する情報を処理し、安定かつ安全に常時稼働させるためのシステムが不可欠です。そうすれば、コスト削減や素早い意思決定、生産性の改善を実現することができます。



こうした業界標準は、戦略の策定や計画、ドキュメント作成、情報管理のフレームワークとして、ジグソーパズル全体のわずか1ピースにすぎませんが、アセットマネジメントの管理方法を変革し、パフォーマンスを改善するための企業文化を実現する上では、最も重要な部分です。

## Infor EAMのパワー

Infor EAM は、市場で最も柔軟な設定が可能なエンタープライズレベルの設備資産管理ソリューションです。組織の目的や解決すべき課題に見合ったシステムがなければ、時間的にも金銭的にも投資した価値以上に回収できないリスクがあります。

成功する企業は、設備資産のパフォーマンスを改善すれば、コストを削減できるだけでなく、営業利益の改善にも貢献できることを知っています。

インフォアは、設備資産のパフォーマンスと利益増加の関係性を理解できるように長い間お客様を支援してきました。そして、お客様のビジネスを効率化する全社レベルの設備資産管理 (EAM) を提供します。

さらに詳しくは [www.infor.jp/solutions/eam](http://www.infor.jp/solutions/eam) をご覧ください。



641 Avenue of the Americas  
New York, NY 10011  
800-260-2640  
[infor.com](http://infor.com)

インフォアジャパン株式会社  
〒100-0006  
東京都千代田区有楽町1-1-3  
東京宝塚ビル16階  
電話：03-4520-0700  
FAX：03-3504-2350  
[japaninfo@infor.com](mailto:japaninfo@infor.com)  
[www.infor.jp](http://www.infor.jp)

### Inforについて

Inforは、組織内で情報を発信、利用する方法を根本から変革します。世界中で200以上の国と地域で、73,000社のお客様の業務改善と企業成長、ビジネスの変化に迅速に対処できるように支援しています。Inforについてさらに詳しくは、[www.infor.jp](http://www.infor.jp) をご覧ください。

### 免責事項

本書には、ここに記載されている特定の製品に関するインフォアの方向性が反映されており、予告の有無に関わらず、それら全てはインフォアのみ裁量で変更される場合があります。本書はいかなる事についてもお約束するものではなく、お客様はいかなる判断も本書またはその内容に基づいて行うべきではありません。特定の拡張機能、アップグレード、製品、機能の開発または提供については、それが本書に記載されている場合でも、インフォアがお約束するものではありません。

Copyright © 2014 Infor. All rights reserved. 本書に記載されている言語表現およびデザイン記号は、インフォアおよびその関連会社並びに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。本書に記載されているその他全ての商標は、各社の所有物です。本書は情報提供の目的のみで提供されるものであり、いかなる方法においてもお客様にお約束するものではありません。本書に記載されている情報、製品、サービスは、予告なしに変更される可能性があります。 [www.infor.jp](http://www.infor.jp)